

「冬期集住・夏期滞在：夏山冬里生活」

国土交通省北海道開発局では、北海道における新たな居住形態のあり方として、農村に分散居住している高齢者が冬期に街なかへ集まって住む「冬期集住」と北海道内外の都市住民が夏期に農村の街なかへロングステイする「夏期滞在」を組み合わせ、「冬期集住・夏期滞在：夏山冬里生活」のライフスタイルを提案し、平成18年度と平成19年度との2か年にわたりアンケート調査や冬期集住・夏期滞在実態調査、留守宅・空き家調査などを実施しました。

2か年の調査結果に対する検討委員会での分析や評価などに基づき、「北海道における新たなライフスタイルの提案—夏山冬里生活の実践に向けて—」をまとめました。

農村の郊外に分散居住している高齢者のニーズと北海道内外の都市住民のニーズを同時に満足させる新たなライフスタイルとして、高齢者の「冬期集住」と都市住民の「夏期滞在」を同じ施設で季節ごとに住み分けを行う「冬期集住・夏期滞在：夏山冬里生活」を提案するものです。

「冬期集住夏期滞在施設」の整備・運営に取り組もうとする、●民間企業●NPO法人●地方自治体などの方々にごらん頂き、「高齢者の冬期集住と都市住民の夏期滞在による新たなライフスタイル」の普及に役立つことができれば幸いです。



お問い合わせ先

北海道開発局 開発監理部 開発調査課

札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎

電話：011 (709) 2311 (内線 5445)

FAX：011 (736) 5859

ホームページアドレス：<http://www.hkd.mlit.go.jp/>

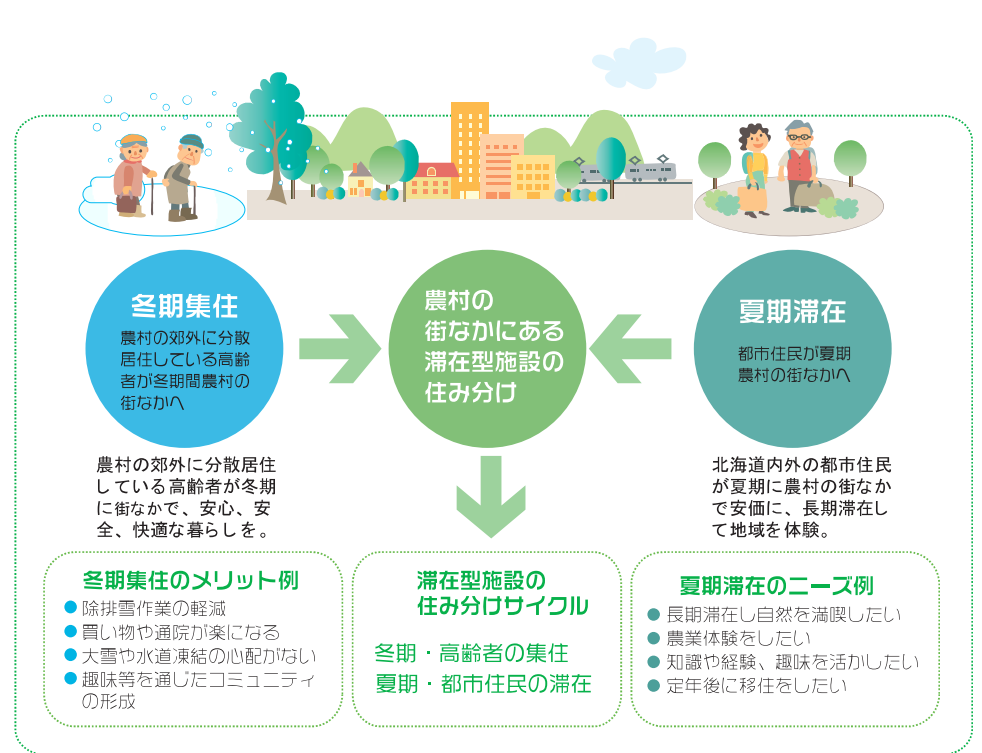
北海道における 新たなライフスタイル の提案

● 夏山冬里生活の実践に向けて ●



北海道におけるライフスタイルの課題

北海道における新たなライフスタイル



冬期集住・夏期滞在体験者の感想

平成19年度に、滝川市と伊達市の宿泊施設で2組の高齢者が冬期の1ヶ月間、集住した後聞き取り調査等を行いました。また、夏期には11組の道外の都市住民が滝川市、伊達市、下川町の宿泊施設で1～2週間、滞在した後聞き取り調査等を行いました。

冬期集住者の声

- ☆ 住居タイプ(マンション)と部屋の広さ(1DK)には満足でした。(滝川市)
- ☆ 夫婦2人には1LDKは狭いですね。それぞれの個室が欲しいです。(伊達市)
- ☆ 自宅より部屋が暖かく快適でした。(共通)
- ☆ 食事の量や内容は良かったです。大浴場は広くて気持ち良かったです。(共通)
- ☆ また集住したいですね。(滝川市)

夏期滞在者の声

- ☆ 住居タイプはマンションが良いですが、戸建でもかまいません。部屋の広さは2LDK位が良いです。(共通)
- ☆ インターネットが使えるのが良いですね。(共通)
- ☆ ペットが飼えると良いです。(伊達市)
- ☆ レンタサイクルのサービスがあると良いですね。(共通)
- ☆ また滞在したいですね。(共通)



夏期 滞在者の イメージ

- 北海道が大好きで毎年来ている。
- 自然や食べ物を満喫したい。
- 農業体験がしたい。
- 花粉症対策など健康のために。
- 北海道で働きたい。
- 知識や経験、趣味を活かしたい。
- 定年後北海道へ移住したい。



夏期 滞在者の ニーズ

- 街の様子や情報、周辺市町村の位置、情報の提供が欲しい。
- 地元の人達と交流ができる、体験プログラムがあると良い。
- 知識や経験、趣味を活かして地域に貢献出来る場があると良い。
- バットと一緒に滞在できる施設があると良い。
- レンタカーの長期滞在者割引制度やレンタサイクルが欲しい。



滞在施設 への ニーズ

- マンションタイプでも、戸別タイプでも良いが駐車場が欲しい。
- 部屋には生活必需品があり、トイレ、洗面台、浴室は戸別が良い。
- 住居費は1日3,000円位が良い。
- 1人なら1LDK、2人以上なら2LDK位が良い。
- インターネットがあると便利、バットと泊まれる部屋が欲しい。



夏期滞在 前の準備 留意点

- 緊急時の連絡先を、あらかじめ施設の管理人などに伝えておきましょう。
- 防犯・防災・凍害などのために火災家財保険などに、加入しておくことと安心です。
- 滞在中の怪我や事故、損害などに備えて、国内旅行保険などに加入しておくことと安心です。



冬期 集住者の イメージ

- 除排雪作業が大きな負担。
- 住宅が老朽化して寒い。
- 大雪や水道凍結が心配。
- 買い物や通院が大変。
- 孤立しがちで不安。
- 趣味や友人との交流が欲しい。



冬期 集住者の ニーズ

- 通院や自宅へ戻る時の送迎サービスが欲しい。
- 医療機関との連携があると安心。
- 生活相談など、気軽にできる所が欲しい。
- 集住者が交流できるプログラムがあると良い。
- 留守宅の定期的な維持管理サービスが受けられると良い。



集住施設 への ニーズ

- マンション、アパート等の集合住宅が良い。
- トイレ、洗面台、浴室は戸別で高齢者向けのバリアフリーが良い。
- 住居費は1日2,000円位が良い。
- 1人なら1DK~1LDK、2人なら1LDK以上が良い。
- 部屋に生活必需品が備わっていると手荷物が少なくて便利。
- 食堂、交流スペース等の共同の施設があると良い。大浴場もあるとなお良い。
- 徒歩圏内に日常生活に必要な施設、機関（商業施設、医療・行政機関など）があると便利。



冬期集住 前の準備 留意点

- 街でしか出来ないことなど、冬期集住している間の生活を考えてみましょう。
- 緊急時の連絡先を、あらかじめ施設の管理人などに伝えておきましょう。
- 防犯・防災・凍害などのために火災家財保険などに、加入しておくことと安心です。

夏期滞在者アンケート・インターネットアンケート による夏期滞在のニーズ

平成18年度に夏期滞在者の意向を調査するためアンケート調査を行いました。

- 都市住民の夏期滞在に関する意向
- 滞在施設利用に関する意向

■ 対象1・・・夏期滞在者

【夏期に拠点調査地域（旭川市・伊達市・滝川市）の宿泊施設に滞在した都市住民（回収サンプル数：約700）】

■ 対象2・・・都市住民

【全国47都道府県に居住する都市住民へのインターネットでのアンケート調査（回収サンプル数：3000）】

■ 分析

- (1) シニア世代（50代～60代）
- (2) 子育て世代（30代～40代）
- (3) ジュニア世代（10代～20代）

調査の結果に基づき夏期に北海道を訪れる人物像を3世代に区分して分析を行いました。その結果、世代別のニーズに共通点が多いことが分かりました。

夏期滞在者へのアンケート調査結果とインターネット調査結果との比較

項目	シニア世代（50代～60代）		子育て世代（30代～40代）		ジュニア世代（10代～20代）	
	夏期滞在者	都市住民	夏期滞在者	都市住民	夏期滞在者	都市住民
希望滞在日数	7～14日	7～14日	7～14日	7～14日	7～14日	6日以下
希望滞在季節	夏期	夏期	夏期	夏期	夏期	夏期
滞在時の条件	住居	住居	住居	住居	住居	住居
	日常の買い物	自家用車・レンタカー	仕事	自家用車・レンタカー	日常の買い物	日常の買い物
	自家用車・レンタカー	日常の買い物	生活費	生活費	生活費	自家用車・レンタカー
	生活費	生活費	自家用車・レンタカー	日常の買い物	自家用車・レンタカー	飲食店の利用
医療施設	日常の交通機関				仕事	生活費
	医療施設	日常の交通機関				
居住タイプ	マンション	ホテル・旅館	マンション	ホテル・旅館	マンション	ホテル・旅館
部屋数	2・3室	2部屋	2・3室	2部屋	2部屋	1部屋
住居条件	風呂・トイレ・キッチン	眺望景観	風呂・トイレ・キッチン	眺望景観	除雪の体制	眺望景観
	大自然に囲まれた環境	大自然に囲まれた環境	駐車場	大自然に囲まれた環境	駐車場	大自然に囲まれた環境
	駐車場	風呂・トイレ	除雪の体制	除雪の体制	風呂・トイレ・キッチン	除雪の体制
	眺望景観	除雪の体制	断熱防音	風呂・トイレ	大自然に囲まれた環境	プライベートが保てる部屋
住居費用	2,000円/日以内	2,000円/日以内	2,000円/日以内	2,000円/日以内	1,500円/日以内	2,000円/日以内

凡例

- 全/15人共通項目
- 5/15人共通項目
- 4/15人共通項目
- 3/15人共通項目
- 2/15人共通項目
- 共通しない項目

夏山冬里生活のニーズ

平成18年度に行ったアンケート調査結果と平成19年度に行った冬期集住夏期滞在実態調査結果をまとめた総合結果です。

- 日常生活に必要な施設・機関（商業施設、医療機関、行政機関など）が徒歩圏内にあること。
- 住宅タイプは集合住宅タイプとする。住戸の間取りは1人用が1LDK：42㎡、1人・2人用が1LDK：42～58㎡、2人・家族用が2LDK：58㎡以上を目安とする。（北海道住生活基本計画(2007)の都市居住型誘導居住面積水準）
- 部屋の設備は、日常使う什器類・家電製品の備え付け、収納スペースの確保、トイレ・洗面台・浴室の戸別設置、バルコニー仕様、インターネットの使用が可能であることとし、パットを飼うことができるほうが良い。
- 共同の設備として、食堂、交流スペース、駐車場があることとし、大浴場が設置されているほうが良い。
- 住居費は、冬期集住者については、聞き取り調査及び実態調査結果による高齢者の経済的な背景から2,000円/日程度、夏期滞在者についてはアンケート調査及び実態調査結果から3,000円/日程度を目安とする。
- 食事は朝・昼・晩の3食、または、朝・晩の2食を提供できる体制を整え、申し込み制とする。

参考施設事例

北海道滝川市 「北のユートピア 寿泉」 (高齢者向け多機能マンション)

鉄筋コンクリート 4階建て、全36室（内、ゲストルーム1室、特別介護室1室）全戸駐車スペース完備

寿泉の安心システム

- ナースコール設置・各居室内2ヶ所（トイレ・ベッド脇）
- 定期健康診断・歯科検診（健康管理室にて）
- 除菌消臭オゾン発生装置完備（館内、各居室内）
- 訪問介護事業所の併設（1F）特別介護室の設置（1室）
- 24時間ヘルパー常駐
- 貴重品保管スペース完備（各居室内）
- 自動体外除細動器（AED）医療機関との連携（滝川市立病院ほか近隣医療機関と連携）



■ 料金体系		■ 月額費用（円）	
項目	金額	項目	金額
合計	120,000	合計	240,000
	140,000	敷金	240,000

備考：● 雑居料：11月～4月+10,000円 ● パット設置料・入居時に+30,000円
注：欠食の場合、1食につき100円返金 外來者等、単発で食事を頼まれる場合は、朝・昼450円、夕食600円

北海道伊達市 「グランデージ 北湖南」 (シニア向け生活サポートマンション)

鉄筋コンクリート 8階建て、全35室駐車スペース1世帯1台分、オール電化

充実の生活支援サービス

- 来訪者の受付・入居者の伝言等、留守宅の郵便物・宅配物等の一時預かり
- 衣類等のクリーニング幹旋
- 地域活動・生涯教育等の案内及び紹介
- 医療・保険予防・介護サービスの相談
- 共用玄関のオートロック
- セキュリティー会社セコムによる居住者の安全の見守り
- 各住戸や共用部の要所に緊急通報用の非常ボタンを設置
- 各住戸の専用浴室の他、大浴場を完備
- 選任調理スタッフがバリエーションのとれたメニューで食事を提供



■ 料金体系		■ 入居時費用	
項目	金額	敷金	借料の2ヶ月分
合計	115,000～156,000	仲介	借料の1ヶ月分
		保険	20,000（2年分）

備考：● 雑居料：11月～4月+5,000円 ● パット設置料・月々+5,000円（2Fのみ設置可能）
● 駐車料金・1,000円 ● 上下水道一律3,500円（2人の場合は5,500円） ● 共益費2人の場合29,000円